

栃木県わがまち未来創造事業実績書(市町総括表)  
【単独】・連携事業

市町名	那須塩原市
-----	-------

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
1	なすしおばらマルシェ	総事業費	1,178,483					1,178,483
		うち市町支出額	792,000					792,000
		うち県交付金	396,000					396,000
2	まだまだ元気「60歳からのともだちづくり」の集い	総事業費	95,556					95,556
		うち市町支出額	70,083					70,083
		うち県交付金	35,041					35,041
3	三島コミュニティ「防災研修会」	総事業費	121,492					121,492
		うち市町支出額	96,000					96,000
		うち県交付金	48,000					48,000
4	南地区の環境を子どもたちと考える事業「ゴーヤ緑のカーテン&遊べ!の森づくり・クワガタ教室」	総事業費	137,411					137,411
		うち市町支出額	60,379					60,379
		うち県交付金	30,189					30,189
5	那須塩原グーフェス	総事業費	376,815					376,815
		うち市町支出額	132,489					132,489
		うち県交付金	66,244					66,244
6	田んぼアート制作事業	総事業費	593,104					593,104
		うち市町支出額	154,548					154,548
		うち県交付金	77,274					77,274
7	家族で農業・食育体験事業	総事業費	1,135,534					1,135,534
		うち市町支出額	698,827					698,827
		うち県交付金	349,413					349,413
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	3,638,395	0	0	0	0	3,638,395
		うち市町支出額	2,004,326	0	0	0	0	2,004,326
		うち県交付金	1,002,161	0	0	0	0	1,002,161

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	なすしおばらマルシェ
事業主体の名称	まちづくり委員会
代表者の名称	室越 礼一
事業主体の所在	〒329-3146 那須塩原市中中野913
事業主体の概要	<p>・団体の目的:「まちづくりは人づくり」の指針のもと、地域活性化のイベントや各種勉強会を通して人材育成を図り、地域に貢献する。</p> <p>・設立年月日:平成16年10月1日</p> <p>・設立経緯:平成17年1月1日の3市町合併に当たり、那須塩原駅周辺(東那須野地区)の活性化を目指して設立された。</p> <p>・構成員等:市内東那須野地区 商工業関係者、地域住民 20人</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>今までは、地域内の農観商工に関わる方がそれぞれ独自に勉強会や単発イベントを実施してきたが、効果が限定的であった。そのため、農観商工それぞれの分野における人材を育成することを目的に、「なすしおばらフェスタ」を開催して、地域産業活性化を図ってきた。しかし、新たな地域産業や、就業者の増加につながらないため、いかにして分野を超えた異業種交流・連携を進めていくかが課題である。</p>
事業目的	<p>多くの観光客等が行き交う那須塩原駅前でマルシェを開催し、農観商工が同時に交流する場、市民、観光客等とも直接つながる場を創出することにより、相互のネットワークを構築するとともに、新しい発想を生み出し、産業の活性化を図ることを目的とする。さらに、新たな発想から生み出された事業(仕事)により、就業の場を創出することを目指す。</p>
事業概要	<p>【平成28年度】 ○なすしおばらマルシェの開催 ・開催日 6月5日(日) ・来場者数 約3,000人 ・出店団体 22店舗 ・内容 那須塩原駅西口広場にてマルシェを開催した。農業関係3店舗、観光業2店舗、商工業17店舗が参加した。開催前に、出店者が連携できるよう出店者会議を開催した。またSNSを利用しグループを構築し、農観商工が連携できるネットワークができた。また、那須塩原駅で開催したことにより、市外の来場者も多く、市のPRにもつながった。</p> <p>【平成29年度以降】 地元商工会や、まちづくり団体と連携し、さらにネットワークを広げて開催していく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】①未来を創る地域産業の活性化のために 【重点施策】「Koyou(雇用)」新規就農者、創業者への支援、「Kouryu(交流)」市全体で魅力ある観光地づくりに寄与する。 【目標指標】就業者数 59,140人(平成22年度)⇒60,000人(平成31年度)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成28年度			支援期間の 事業費計	
事業内容	なすしおばらマルシェの開催				
事業費	1,178,483			1,178,483	
市町支出金 (ソフト事業分)	792,000			792,000	
うち県交付金	396,000			396,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0			0	
うち県交付金	0			0	
その他自主財源等	386,483	0	0	386,483	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	田中 幸子
電話	0287-62-7151
FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	まだまだ元気「60歳からのともだちづくり」の集い
事業主体の名称	NPO法人三区町地域資源・環境保全会
代表者の名称	佐々木 賢
事業主体の所在	〒329-2745 那須塩原市三区町658-11
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的: 広く住民に対して、農村部を中心とした農地・農業用水などの資源や、豊かな自然と、それらが織り成す美しい景観の保全に関する事業、農村部と都市部との交流と共生を目的とした事業などを行うことにより、豊かで明るい地域づくりに寄与する。</li> <li>・設立年月日: 平成24年1月25日</li> <li>・構成員等: 地区住民 116名</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三区町地区は、約35年前からの急激な振興住宅増加の反動として、地区の人口に占める60歳以上の比率が平成26年度には25%(約620人)となっている。今後、平成29年度には30%(約750人)、平成34年度には35%(約870人)と、高齢化が急速に進むと推測されている。</li> <li>・コミュニティの機能を維持し、活気を取り戻すためには、地域住民同士の交流を促進し、新規移住者を増やす取組が急務であり、魅力あるまちづくりを通して、三区町への愛着の醸成や地域資源の再発見と生きがいづくり活動を積極的に展開することが必要である。</li> </ul>
事業目的	<p>地域の高齢者が、地域の歴史・魅力を再発見しながら、「ともだちづくり」をしていくことで、地域活動へ参加するきっかけをつくり、お互いに助け合う心を育成していくとともに、安心して暮らせ、移住先として選ばれる地域をつくりあげていく基盤をつくる。さらに、この活動を展開し、新たな転入者が増えていくことにより、既存の住民の「住み続けたい」という気持ちを高め、転出者の抑制を図る。</p>
事業概要	<p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○まだまだ元気「60歳からのともだちづくり」の集いを開催</li> <li>・開催日 9月11日(日) ・場所 那須開墾者第二農場歴史公園</li> <li>・参加人数 78人</li> <li>・内容             <ol style="list-style-type: none"> <li>①身体を使うことにより健康維持に役立てるため、フラダンス等の余興を実施した。</li> <li>②生きがいづくりのチラシ配布により、有意義な人生への活動を支援した。</li> <li>③お話タイムによる参加者同士の積極的な交流により、仲間づくりを実践した。</li> <li>④地産地消と消費拡大を図るために地元産のお米や野菜のPRを実施し、魅力ある地域の再確認と発信を行った。</li> <li>⑤社会福祉協議会及び地域包括支援センターの役割等の説明会を開催することで、身近な組織の存在が確認でき、安心感を育むことができた。事業を通して、地域での共助意識が高まり、高齢者の地域活動参加への一助となった。</li> </ol> </li> </ul> <p>【平成29年度以降】</p> <p>対象者を近隣7自治会に拡大して実施することで、住民同士の交流をさらなる活性化を促し、地域の活性化を図る。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】③未来に集う人々の活発な交流のために</p> <p>【目標指標】定住促進計画期間において、市への転入者数が転出者数を上回ることを重点施策である「Kouryu(交流)」地域コミュニティの活性化に寄与する。</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成28年度			支援期間の 事業費計	
事業内容	まだまだ元気「60歳からのともだちづくり」の集いの開催				
事業費	95,556			95,556	
市町支出金 (ソフト事業分)	70,083			70,083	
うち県交付金	35,041			35,041	
市町支出金 (ハード事業分)	0			0	
うち県交付金	0			0	
その他自主財源等	25,473	0	0	25,473	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	田中 幸子
電話	0287-62-7151
FAX	0287-62-7220
E-mail	<a href="mailto:kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp">kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp</a>

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	三島コミュニティ「防災研修会」
事業主体の名称	三島地区コミュニティ運営委員会
代表者の名称	赤沢 修一
事業主体の所在	〒 329-2751 那須塩原市東三島6丁目337
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:住民の自主的参加をもとに、住み良い地域づくりに資することを目的に、文化教育部、福祉部、まちづくり部、まつり部、広報部の事業部が中心となり、各種事業を実施している。</li> <li>・設立年月日:昭和61年4月29日</li> <li>・構成員等:地区住民 11,892人</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>三島地区は、市内でも人口の多い地区であり、本市人口の10%超の約12,000人が生活している。</p> <p>そこで、三島地区コミュニティでは、平成23年の東日本大震災を契機として、自主防災事業の研修会の実施や石巻市仮設住宅住民との交流事業などを展開している。その結果、少し震度の大きい地震が発生した際には隣近所で声をかけあうようになるなど、自主防災の意識が高まってきた。</p> <p>しかし、今後高齢化も進むにつれ、年代を超えての自主防災活動の維持が難しくなることが懸念されており、いかにして地域を支えるための年代の枠に捉われないリーダーの育成が課題となっている。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害を「自分ごと」ととらえてもらい、災害発生時には自ら迅速に対応できるようにする。</li> <li>・災害発生時に隣近所助け合えるようにするなど、防災意識の向上を図る。</li> <li>・防災意識の高い地区として、情報を発信することで、市民の満足度を向上させる。</li> </ul>
事業概要	<p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「防災研修会」の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・期 日 平成28年9月4日 午後2時～3時30分 ・場 所 三島公民館 ・参加者 70人</li> <li>・対 象 三島地区コミュニティ委員、自治会防災及び福祉担当者、住民</li> <li>・内 容 平成26年11月に震度6弱の大地震を経験した長野県白馬村の自治体職員と当時の自治会長を講師に招き、甚大な被害が発生したにも関わらず一人の犠牲者も出さなかった防災活動について、地震発生当時の生々しい証言、迅速な救命活動、地区内の復旧の様子などの講話をお聴きした。当日は、他地区のコミュニティ関係者も多数参加するなど、住民の防災への関心の高さを改めて感じ取ることができた。当コミュニティとしても、白馬村の「犠牲者ゼロ」事例を参考にし、自治会防災組織の連携強化を図ることの重要性と必要性について学ぶ貴重な機会であったことを強く感じ、その実現に向けて決意を新たにすることができた。</li> </ul> </li> <li>【平成29年度以降】</li> <li>○ 前年度の実施結果の効果等を検証、分析し、「研修会」を実施する。</li> <li>○ 参加した住民が、まだ参加していない住民へ教える「勉強会」を開催し、自主的な取組を目指す。</li> </ul>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】④未来を守る災害対応力の強化のために</p> <p>【目標指標】災害に対する備えの強化と生活安全確保に対する市民満足度 基準値(平成22年度)59点 ⇒ 目標値(平成31年度)65点以上 重点施策である「Kurashi(暮らし)」安心・安全な生活環境の確保に寄与する。</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成28年度			支援期間の 事業費計	
事業内容	防災研修会の開催				
事業費	121,492			121,492	
市町支出金 (ソフト事業分)	96,000			96,000	
うち県交付金	48,000			48,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0			0	
うち県交付金	0			0	
その他自主財源等	25,492	0	0	25,492	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	田中 幸子
電話	0287-62-7151
FAX	0287-62-7220
E-mail	<a href="mailto:kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp">kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp</a>

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	南地区の環境を子どもたちと考える事業「ゴーヤ緑のカーテン&遊べ!の森づくり・クワガタ教室」
事業主体の名称	南地区コミュニティ推進協議会
代表者の名称	豊住 昌隆
事業主体の所在	〒329-2733 那須塩原市二区町401
事業主体の概要	<p>・団体の目的:南地区内において、住民相互の連帯感と文化の向上を図り、明るいまちづくりを行うことを目的とする。                  体育文化部・女性部・福祉部・地域振興部を組織して住民の意思が反映された事業を展開している。</p> <p>・設立年月日:昭和59年2月1日</p> <p>・構成員等:地区住民等 6,779人</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>現代の地域内の関係性の希薄化等により、子ども達を取り巻く環境は大きく変化しており、自然や生き物とふれ合う機会が少なくなっているのが現状である。また、地球温暖化が進行する中、その対策は急務であるとともに、将来を担う子ども達に対する環境教育が求められている。そのため、地域の子どもは地域で見守り・育てるといった関わりを持つことが大切である。</p>
事業目的	<p>子どもたちが、自然の中で生物の生態を体験して学び、ゴーヤカーテンの設置により、自らの野菜づくりから料理まで行うことを通して、環境、生命の大切さを学び、健やかに成長することを目的とする。</p> <p>また、子どもに関わる施策を促進し、住民の満足度を向上させ、さらに市内外に発信することで、既住民に住み続けたいという気持ちを高めるとともに地域に移住する子育て世代を増やす。</p>
事業概要	<p>【平成28年度】                  南小学校の児童とともに、「ゴーヤ緑のカーテン」を設置し、地球温暖化対策と環境教育を実施した。また、子どもたちが自然に触れられる遊び場として設置した森を整備し、昆虫の餌床を埋設、昆虫採集、観察会を行った。本事業は、地域のシンボルの事業となりつつあり、子どもたちにとっての環境教育だけでなく、地域の活性化にもつながっている。</p> <p>①ゴーヤ緑のカーテンづくり(種蒔き、カーテンづくり、手入れ、観察) ・カーテンづくり 6月14日 児童70人参加</p> <p>②遊べ!の森づくり・クワガタ教室                  ・遊べの森づくり(雑草刈り、清掃、昆虫餌床埋設)6月19日(22人)、7月24日(40人)9月4日(10人)、2月4日(19人)                  ・クワガタ教室・昆虫観察会 6月19日(42人)</p> <p>③地元産野菜を使った子どもカレーづくり教室                  ・地産地消カレーづくり 7月24日 児童62人参加</p> <p>【平成29年度以降】                  ①～③の事業を参加者が拡大するよう実施し、子どもの健やかな成長を後押ししつつ、地域がより活性化することを目標とする。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】①未来を拓く子どもたちの健やかな成長のために                  ②未来に集う人々の活発な交流のために</p> <p>【目標指標】①児童福祉の充実に対する市民満足度 基準値(平成22年度)48点 ⇒ 目標値(平成31年度)60点以上                  ②定住促進計画期間において、市への転入者数が転出者数を上回ること</p> <p>重点施策である「Kyouiku(教育)」体験教育の充実及び「Kouryu(交流)」地域コミュニティの活性化に寄与する。</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	平成28年度			支援期間の 事業費計	
事業内容	①ゴーヤの緑のカーテンづくり ②遊べ!の森づくり・クワガタ教室 ③地元産野菜を使った子どもカレーづくり				
事業費	137,411			137,411	
市町支出金(ソフト事業分)	60,379			60,379	
うち県交付金	30,189			30,189	
市町支出金(ハード事業分)	0			0	
うち県交付金	0			0	
その他自主財源等	77,032	0	0	77,032	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	田中 幸子
電話	0287-62-7151
FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	那須塩原 グーフェス
事業主体の名称	NNC那須ナチュラルチーズ研究会
代表者の名称	落合 一彦
事業主体の所在	〒325-0052 那須塩原市中央町5-3
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的: 地元の新鮮かつ高品質な生乳を原料としたナチュラルチーズの普及拡大を図るため、チーズづくり技術の普及定着とチーズ食推進に関する情報交換や研修会等の企画を行う。</li> <li>・設立年月日: 平成24年9月26日</li> <li>・構成員等: 22人</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	市の生乳生産量は本州一であるが、その事実を知らない市民も少なくなく、せっかくの地元産の新鮮で栄養価の高い農産物を家庭料理に取り入れていない家庭が多く存在していると予測できる。こうした状況のもと、本会では、市民や子ども達に地元の特産品や食文化について伝える機会を増やそうと、地元でとれた生乳を原料としたチーズを通じた食育に取り組むことが必要と考えるが、いかにして市内外に地元の農産物の魅力を伝え、市内で子育てをすることの良さを伝えていくかが課題である。
事業目的	那須塩原市の特産物であるチーズ、牛乳を地元への愛着を持つ市民に対して積極的なPRを図り、親子で正しい知識や食べ方、栄養、健康法など学ぶとともに地産地消を推進することで、市の魅力の再発見と再確認を促し、住んでよかった・ずっと住みたいという意思を持ち続けさせる。
事業概要	<p>【平成28年度】</p> <p>○ 那須塩原グーフェス2016の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日 時 平成28年10月2日(日) 10:00~15:00</li> <li>・場 所 黒磯公園、いきいふれあいセンター</li> <li>・対 象 市民(特に親子) ・来場者 約1,500人</li> <li>・内 容 1.2m勢子鍋でのチーズごはんの提供やミネストローネの提供では、多くの親子や女性から「美味しい」「食べやすい」などと大変好評を博しており、地元産のチーズを知ってもらった絶好の機会であった。また、音羽シェフによる野外ライブキッチンや食育トークでは、実践者の話を間近に聞くことで、地元の特産品についての学習と地域資源の再発見ができた。さらには、牛乳で乾杯や親子でのチーズづくり体験を通し、楽しみながら実際に触れることで、市の魅力について再確認することができ、地元へのさらなる愛着を醸成することができた。</li> </ul> <p>【平成29年度以降】</p> <p>○ 那須塩原グーフェスの開催</p> <p>検証・分析を踏まえ、市内外に広く交流できるよう対象者を拡大し、市の魅力を積極的にPRする。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】①未来を拓く子どもたちの健やかな成長のために</p> <p>【目標指標】児童福祉の充実に対する市民満足度 基準値(平成22年度)48点 ⇒ 目標値(平成31年度)60点以上</p> <p>重点施策「Kosodate(子育て)」子育て親子の交流促進及び「Kyouiku(教育)体験教育の充実」に寄与する。</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成28年度			支援期間の 事業費計	
事業内容	那須塩原グーフェスの開催				
事業費	376,815			376,815	
市町支出金 (ソフト事業分)	132,489			132,489	
うち県交付金	66,244			66,244	
市町支出金 (ハード事業分)	0			0	
うち県交付金	0			0	
その他自主財源等	244,326	0	0	244,326	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	田中 幸子
電話	0287-62-7151
FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	田んぼアート制作事業
事業主体の名称	アグリパル塩原会「田んぼアート制作実行委員会」
代表者の名称	君島 圭一
事業主体の所在	〒329-2801 那須塩原市関谷442
事業主体の概要	・団体の目的:市地域資源総合管理施設「アグリパル塩原」の指定管理者として管理運営を行い、塩原地区の農業、農村の振興を促進することで、地域の活性化に寄与するとともに、会員相互の親睦の増進を図る。また、道の駅「湯の香しおばら」の駐車場及び芝生管理業務も請け負っている。 ・設立年月日:平成19年4月19日(実行委員会平成26年9月1日)
当該事業に係る地域の現状と課題	観光客を呼び込むために「さなぶりまつり」や「ジャガイモ掘り体験」などのイベントを実施してきたが、観光客数が原発事故発生前後で約15%落ち込んでいる。そこで、H27から田んぼアートを野外の美術館として発信し、観光客の入込数の増加に取り組んできた。しかし、依然として誘客の回復にはつながらないため、会員以外にも参加を呼びかけて地域が盛り上がるよう地域住民の一体感の醸成が必要である。
事業目的	市民等が参加して田んぼアートを作成することにより、観光客の入込数を増加させることで地域の活性化を図るとともに、田んぼの持つ環境への役割や米の大切さを知ってもらうことを目的とする。さらに、田んぼアートを制作することにより、住民同士のつながりや目標が明確になり、地域の一体感による地区の賑わいが生まれ、地域を離れる人を減らし、地域にやってくる人を増やす。
事業概要	【平成28年度】 田んぼアートの絵柄が不明瞭で、昨年度よりは観覧者数が減少してしまっていたが、多くの地域住民や、観光客が来場した。また、昨年度は実施できなかった「田植え体験事業」「稲刈り体験事業」を実施することができ、地域で採れる食物について学ぶことができた。 ①田植え体験事業 5月15日(会員15人、一般8人参加) ②観覧所設置・自由観賞 5月15日から9月24日 観覧者約1,000人 ③田んぼアート観賞会 未実施 ④稲刈り体験事業 9月24日(会員15人、一般8人参加) ⑤田んぼアートの維持管理 通年  【平成29年度以降】 ①～⑤を継続し、検証・分析を踏まえ、積極的にPRしながら、観光客の入込数の増加を目指す。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【基本目標】③未来に集う人々の活発な交流のために 【目標指標】定住促進計画期間において、市への転入者数が転出者数を上回ること 重点施策「Kouryu(交流)」市全体で魅力ある観光地づくりに寄与する。

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成28年度			支援期間の 事業費計	
事業内容	①田植え体験事業 ②観覧所設置・自由観賞 ③田んぼアート観賞会 ④稲刈り体験事業 ⑤田んぼアートの維持管理				
事業費	593,104			593,104	
市町支出金 (ソフト事業分)	154,548			154,548	
うち県交付金	77,274			77,274	
市町支出金 (ハード事業分)	0			0	
うち県交付金	0			0	
その他自主財源等	438,556	0	0	438,556	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	田中 幸子
電話	0287-62-7151
FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	家族で農業・食育体験事業
事業主体の名称	ふるさとにしなす産直会
代表者の名称	金田 文男
事業主体の所在	〒329-2745 那須塩原市三区町656-2
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:農家と非農家の混在地区であることを強みとして、地区内非農家や一般消費者に対して地産産野菜を直接販売したり、地産地消の推進により「安全・安心・地元産」を積極的にPRすることで地域の活性化を図る。</li> <li>・設立年月日:平成8年11月22日</li> <li>・構成員等:地区農家等 162人</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	地域の伝統行事や、地域で採れる野菜などの農作物がどのように育つか分からない世代が多い。これは、人口の流失などにより、子ども達に地域の伝統芸能や食の文化について伝える機会が少ないことに起因していると考えられる。そのため、農業体験を通じた食育を推進することが大切であり、そのことを市内外へPRすることで市の魅力の発信につながるから、交流をきっかけとした定住化へのさらなる呼びかけが重要となる。
事業目的	家族で農業の体験を通じて食糧の大切さや作物の成長を学び、自分たちで育てた農作物を調理して食育を行う。また、地元で採れる作物について子どもたちが学ぶ機会を設け、地産地消の重要性を理解してもらうことにより、子育て世代に市内の育児環境の良さを認識し、評価してもらう。
事業概要	<p>【平成28年度】</p> <p>地元の農作物の種蒔きや収穫、調理体験を、年5回開催した。市内だけでなく、市外、県外からの参加者もあり、子どもの体験教育の他、地産地消による産業振興及び地域の活性化に寄与した。</p> <p>①地元農家での農業体験……ミニトマト、きゅうり、なす、オクラ、とうもろこし、米、そば、ニラ、カボチャ、大根、ユリ等の種蒔き、収穫、脱穀等の農業体験を実施した。</p> <p>②収穫した農作物の調理体験……収穫したそばの粉ひき体験、そば打ち、米のかまど炊き体験、収穫した大根を使ったくわん漬体験を実施した。</p> <p>&lt;参加者数&gt;6月18日(土)40人、8月7日(日)40人、9月17日(土)40人、11月6日(日)40人、12月11日(日)55人</p> <p>【平成29年度以降】</p> <p>①、②を継続し、検証・分析を踏まえ、農業体験を通じた市の魅力を積極的にPRしなから、体験者数の増加を目指すことで、交流人口と定住者の確保を図る。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】①未来を拓く子どもたちの健やかな成長のために</p> <p>【目標指標】児童福祉の充実に対する市民満足度 基準値(平成22年度)48点 ⇒ 目標値(平成31年度)60点以上</p> <p>重点施策【Kosodate(子育て)】子育て親子の交流促進及び「Kouiku(教育)体験教育の充実」に寄与する。</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成28年度			支援期間の 事業費計	
事業内容	①農業体験 ②収穫した農作物の調理体験				
事業費	1,135,534			1,135,534	
市町支出金 (ソフト事業分)	698,827			698,827	
うち県交付金	349,413			349,413	
市町支出金 (ハード事業分)	0			0	
うち県交付金	0			0	
その他自主財源等	436,707	0	0	436,707	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	田中 幸子
電話	0287-62-7151
FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp